

ハラスメント防止委員会企画講演

ハラスメント被害者の心理的回復

【企画趣旨】

昨今、ハラスメント防止委員会企画講演およびシンポジウムも7回目を迎え、ハラスメントの問題は、その発生から状況の深刻化の過程、調査・調停等の対処のあり方、さらに、被害者の回復に関わる対応に至るまで、実にさまざまな課題が背後に複雑に絡み合いつつ潜んでいることが、私どもの学会においても少しずつ共有されてきました。

そのなかで、ハラスメント被害を受けた人の回復に向けてどのように支援をしていくことが望まれるのかという課題は、ハラスメントに関わる調停等が決着しさえすれば往々にして見過されがちになりますが、むしろ調停の決着に増して難しさもあり、そこを避けてハラスメント問題の解決はあり得ない重要な課題の一つでもあります。ハラスメント被害を受けた人はすぐには元通りに戻ることは難しく、回復に関わる課題は想像以上に難題であるということを、まずは共有しておくことが肝要です。

そこで、ハラスメント防止委員会では、被害を受けた人が回復するためにどのように留意する必要があるのか、また、その周囲にいる人たちがどのようなことができるのかといったことを考える機会を、本総会において企画することにいたしました。幸いにも、DV、性暴力被害者などを中心に、大学研究室や職員などの被害も含めて、ハラスメント被害者の臨床経験を豊富に持たれている、この領域の日本の代表者でもある小西聖子先生にお越し頂いたことができました。小西先生には、ハラスメント被害を受けた人をどう支援するか、被害からの回復の道筋と支援のあり方等について、事例を交えてお話しitただくよう、お願いしております。それに続きまして、これまでのハラスメント防止委員会企画の講演会のすべてに関わって下さっており、また、専門委員として委員会にもご助言をいただきてきています金子雅臣先生より、今までの学会での議論の経緯も踏まえて、指定討論をいただき、フロアを交えて、質疑応答、意見交換の場としたいと思います。